

## 事後評価結果（平成17年度採択）

番号	研究課題名	研究代表者	評価
17-6	市民参加型交通安全対策・評価システムの実用化に関する研究	日本大学教授 高田 邦道	A
<p>&lt; 研究の概要 &gt;</p> <p>効果的な交通事故対策を立案するため、事故原因の特定、対策及び評価等について、汎用性の高いモデルを構築し、複数自治体に試行する等、関連システムの研究開発を行う。</p> <p>&lt; 主な研究成果 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 交通事故半減スキームの他自治体への移植と広域運用の実施</li><li>・ 対策支援システムの機能拡充</li><li>・ 交通事故半減スキームの汎用化</li></ul> <p>&lt; 事後評価結果 &gt;</p> <p>当初の目的・目標に適った成果が得られており、地域住民の意識の向上にも大きく貢献し、今後、より多くの自治体や広域的な取り組みが期待されることから、研究目的は達成され、十分な研究成果があったと評価する。</p> <p>&lt; 参考意見 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 今後は自治体等が当該システムを導入する際のコスト縮減策や実務に携わる技術者の育成などについても、力点をおいて研究を実施されたい。</li><li>・ 国道等の幹線道路にも同じ手法を敷衍することも視野に入れ、より多くの自治体や広域的な取り組みが期待され、今後に向けて大変有効な研究であると考えられる。</li></ul>			